

## 令和5年度北信越高等学校体育大会卓球競技兼第63回北信越高等学校対抗卓球選手権大会

期日 令和5年6月16日(金)～18日(日)  
会場 新潟県新潟市東総合スポーツセンター  
文責 新潟県高体連卓球専門部委員長  
新潟商業高等学校 松本 滋



久方ぶりの制限のない北信越大会であった。普通に行えることが、こんなに喜ばしいとは驚きでもある。

開会式において連続・通算出場の表彰を行った。連続50年、通算60回出場女子遊学館高等学校(石川)、通算50回出場女子福井商業高等学校(福井)、通算40回出場男子学校対抗富山商業高等学校(富山)、通算30回出場女子富山商業高等学校、連続5年出場(2017～2022)女子敦賀高等学校(福井)、連続5年出場(2018～2023)女子長野商業高等学校(長野)をそれぞれ表彰した。特に女子遊学館高等学校の50年連続出場は偉大な記録である。

学校対抗では男女の決勝戦が同じ学校同士の戦いとなり、違う結果となった。男子は遊学館高等学校(石川)と新潟産業大学附属高等学校(新潟)の決勝となり、3-1で遊学館高等学校が勝利した。男子遊学館高等学校の連続優勝は22年にのびた。押しも押されもせぬ北信越を代表する強豪校である。女子の決勝も遊学館高等学校と新潟産業大学附属高等学校との間で行われ、3-2の接戦を制した新潟産大附が優勝した。ここ10年の間(H25～R5(R2は中止))では遊学館が5回、福井商業(福井)が2回、新潟産大附が2回、敦賀高校が1回の優勝となっており、ここでも遊学館高校は優勢である。そこに福井、新潟が迫ろうとしているのが北信越女子の勢力図である。

ダブルスの決勝は男女とも、遊学館高校が他県からの挑戦を退ける形となった。

男子決勝は鈴木・坂田(遊学館)組と原・櫻井(松商学園)組の対決となり3-1で鈴木・坂田組の優勝、女子決勝は牧野・竹内(遊学館)組と山岸唯・佐藤(新潟産大附)組の対決となったが、3-2で牧野・竹内組が優勝した。

シングルの決勝は男女ともに遊学館高校の同校対決であった。

男子決勝は、薛大斗選手(遊学館)と赤尾飛市朗選手(遊学館)の対決となり、薛選手が3-1で勝利した。優勝した薛選手は2年連続での優勝であり、3年連続優勝を狙える位置にある。平成以降の3年連続優勝選手は平成27年から29年の出雲卓斗選手(遊学館)、平成11年から13年の馮殿宇選手(高岡龍谷)の二人である。

女子決勝は牧野里菜選手(遊学館)と竹内伶選手(遊学館)の対決となり、牧野選手が3-0で勝利した。牧野選手は2年連続での学校対抗・ダブルス・シングル全種目優勝を果たした3冠王である。素晴らしい成績である。女子選手の2年(以上)連続での3冠は平成以来では平成17年18年の加能尚子選手(遊学館)以来となる。(3年連続での3冠王は、平成以降では男女とも出ていない。)

また女子選手の3年連続優勝は平成以来では平成11年から13年の張巍選手(富山・福光)、平成2年から4年の三橋真樹選手(石川・金城)の2人となる。平成以降の男子選手2年(以上)連続での3冠は平成15年と16年の石崎孝志選手(石川・遊学館)だけである。

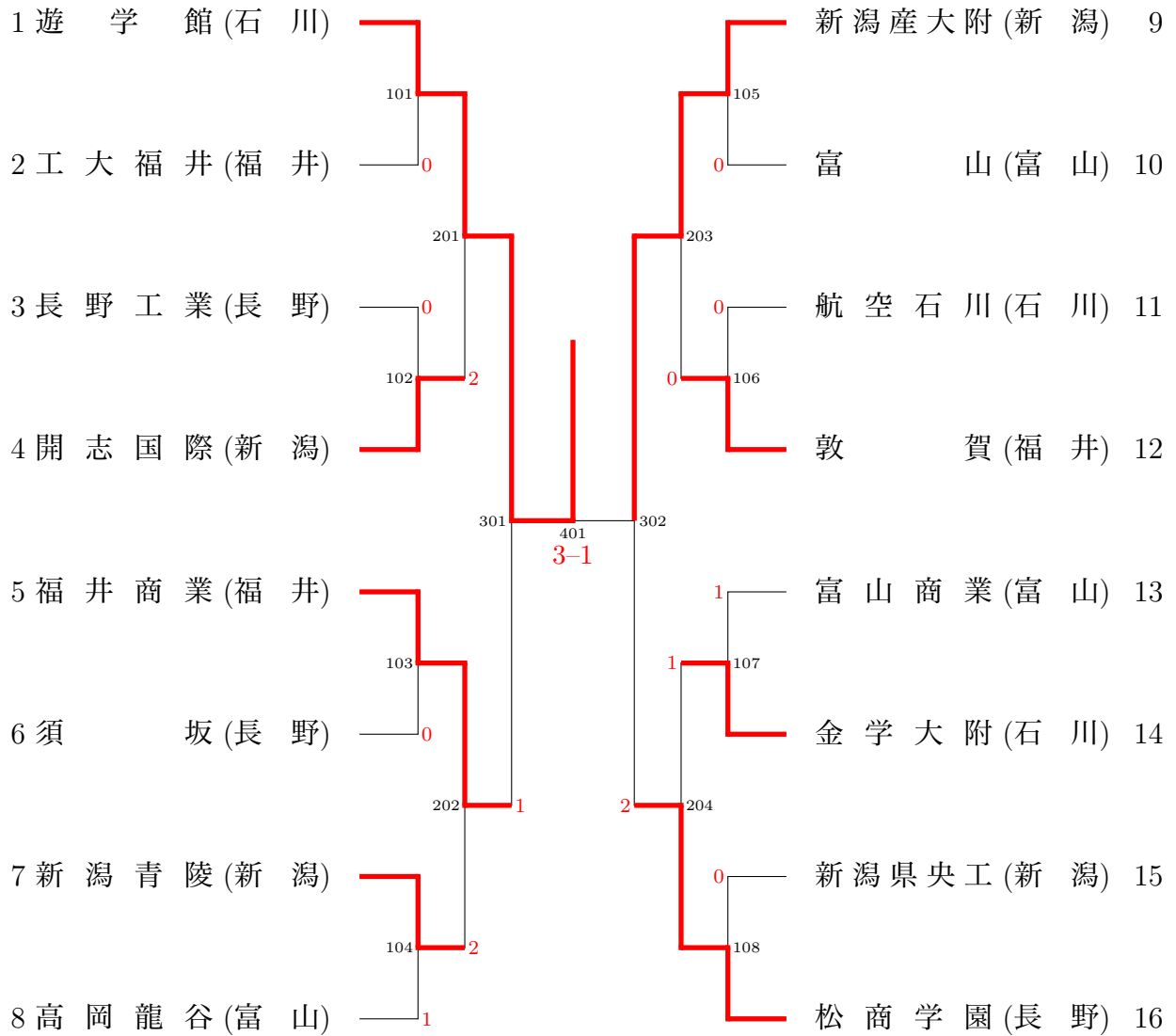
近年、北信越ブロックは男女ともレベルが高くなってきたと感じている。インターハイでも男女の遊学館高校以外でも好成績をあげつつある。ぜひこのまま北信越での切磋琢磨が続き、全国大会での北信越勢の活躍に結びついてほしいと心から願っている。



コロナ禍はまだ終息を迎えていないが、一定の落ち着きは得たようだ。油断せず、大会が継続開催できる喜びを選手・役員の皆と分かち合い、感謝したい。最後まで無事に今大会を終えることが出来たことは選手の皆さんをはじめとして役員、監督の先生方、審判員、そして運営の補助をしてくれた高校生諸君のおかげであり、大変感謝している。

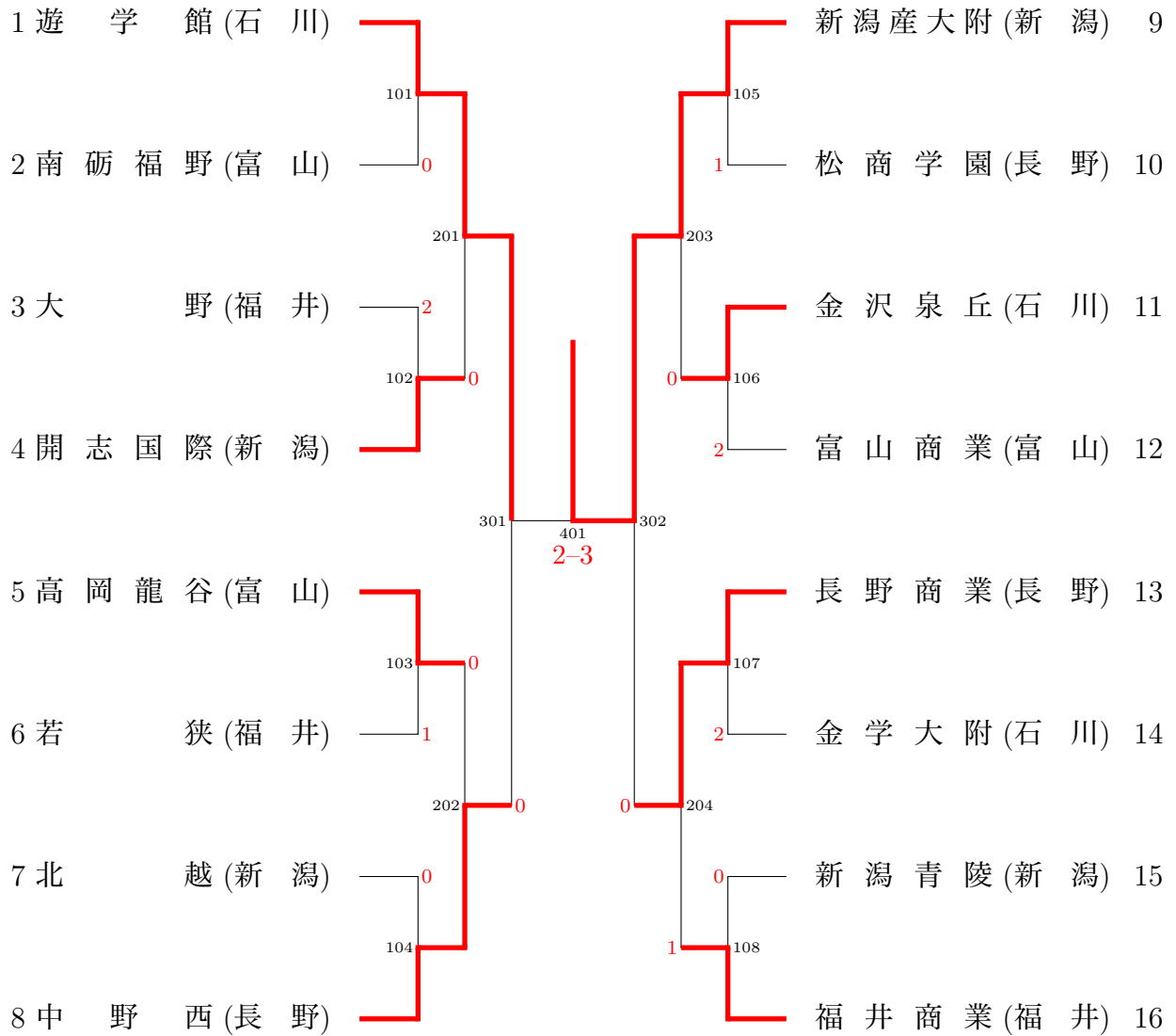
各県の専門委員長をはじめとして、関係者各位より多大なるご支援とご協力を賜ったことをこの場をお借りして、謹んで御礼申し上げます。報告とさせていただきます。

# 男子学校対抗



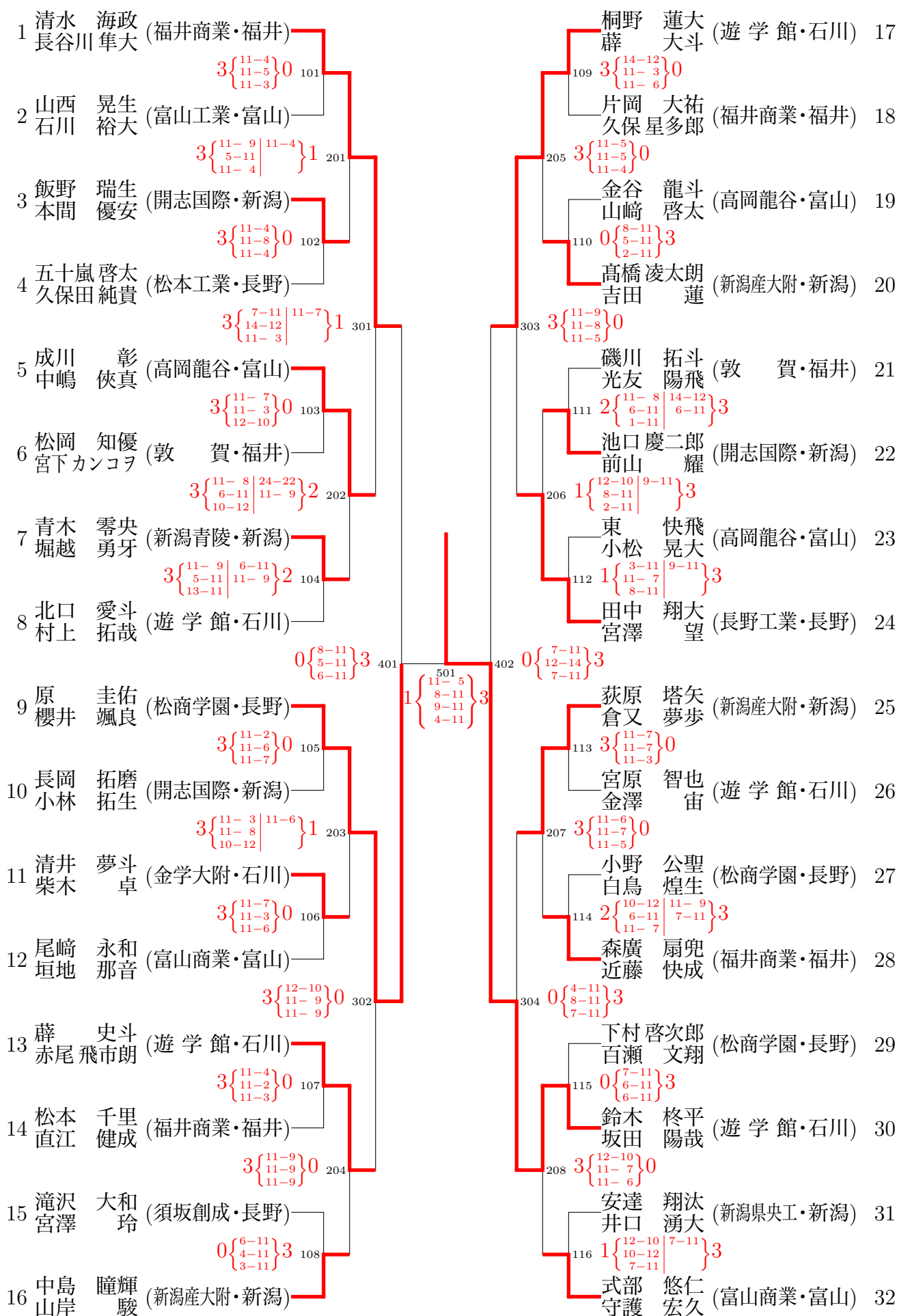
男子学校対抗優勝  
 遊学館高等学校

# 女子学校対抗

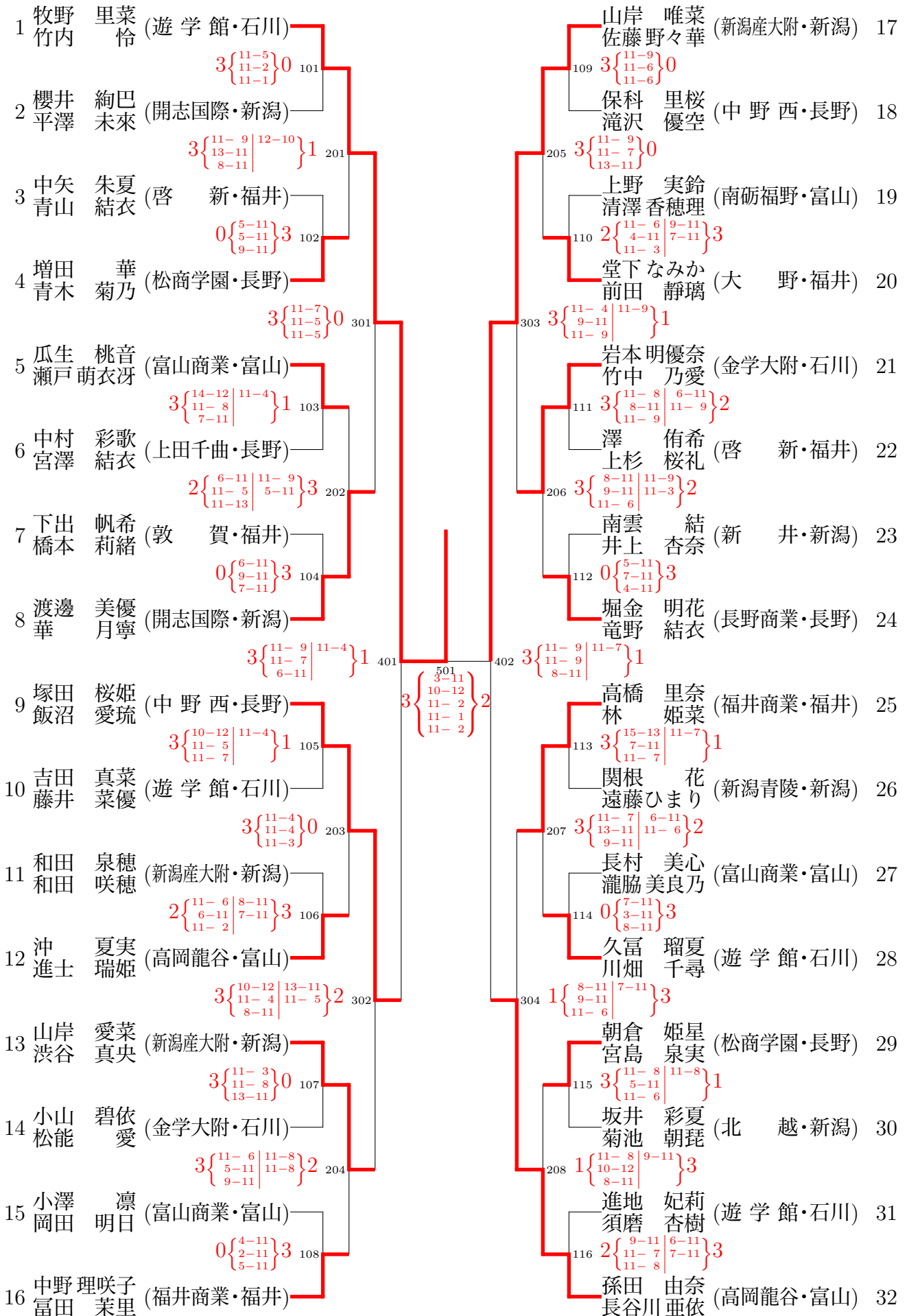


女子学校対抗優勝  
 新潟産業大学附属高等学校

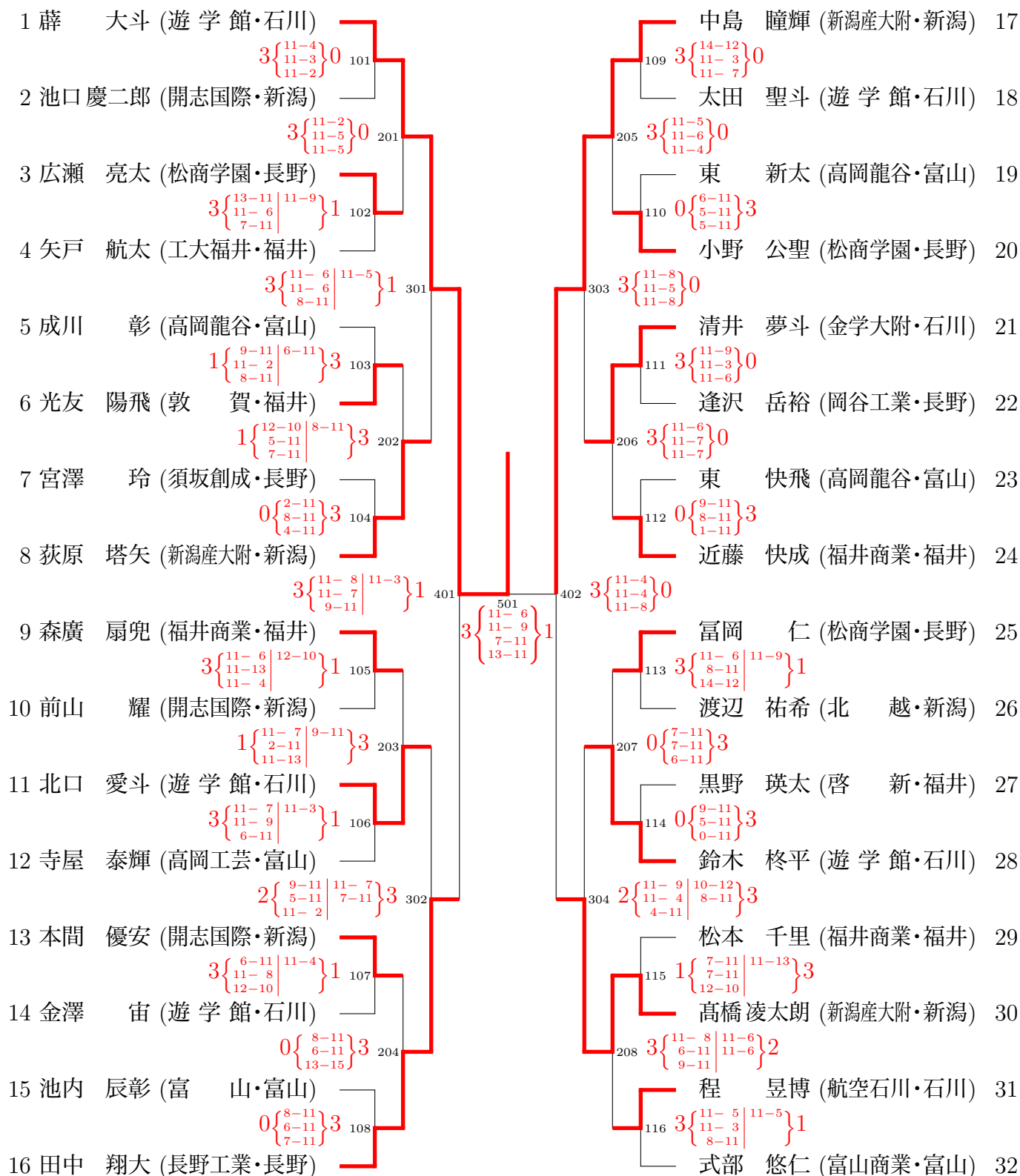
# 男子ダブルス



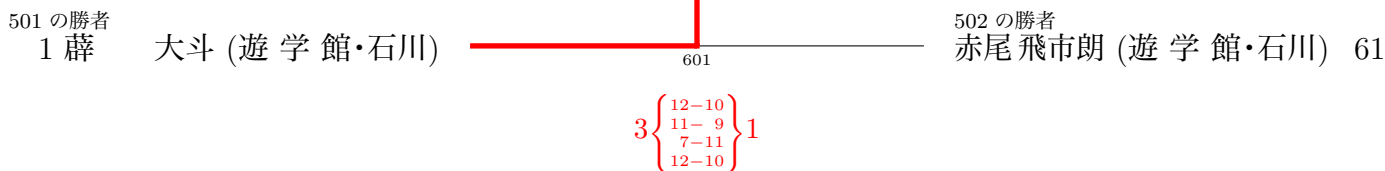
# 女子ダブルス



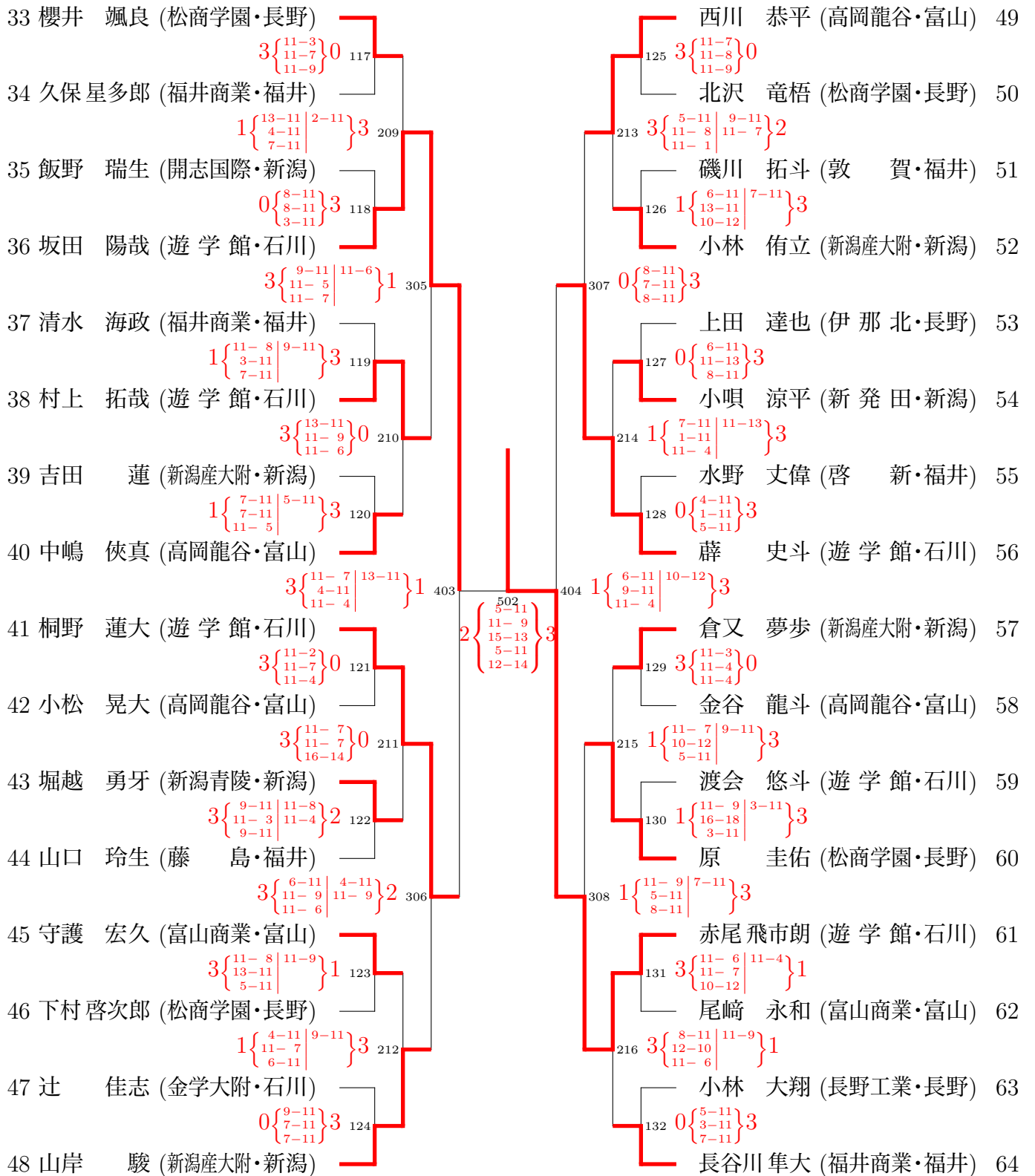
# 男子シングルス (その 1)



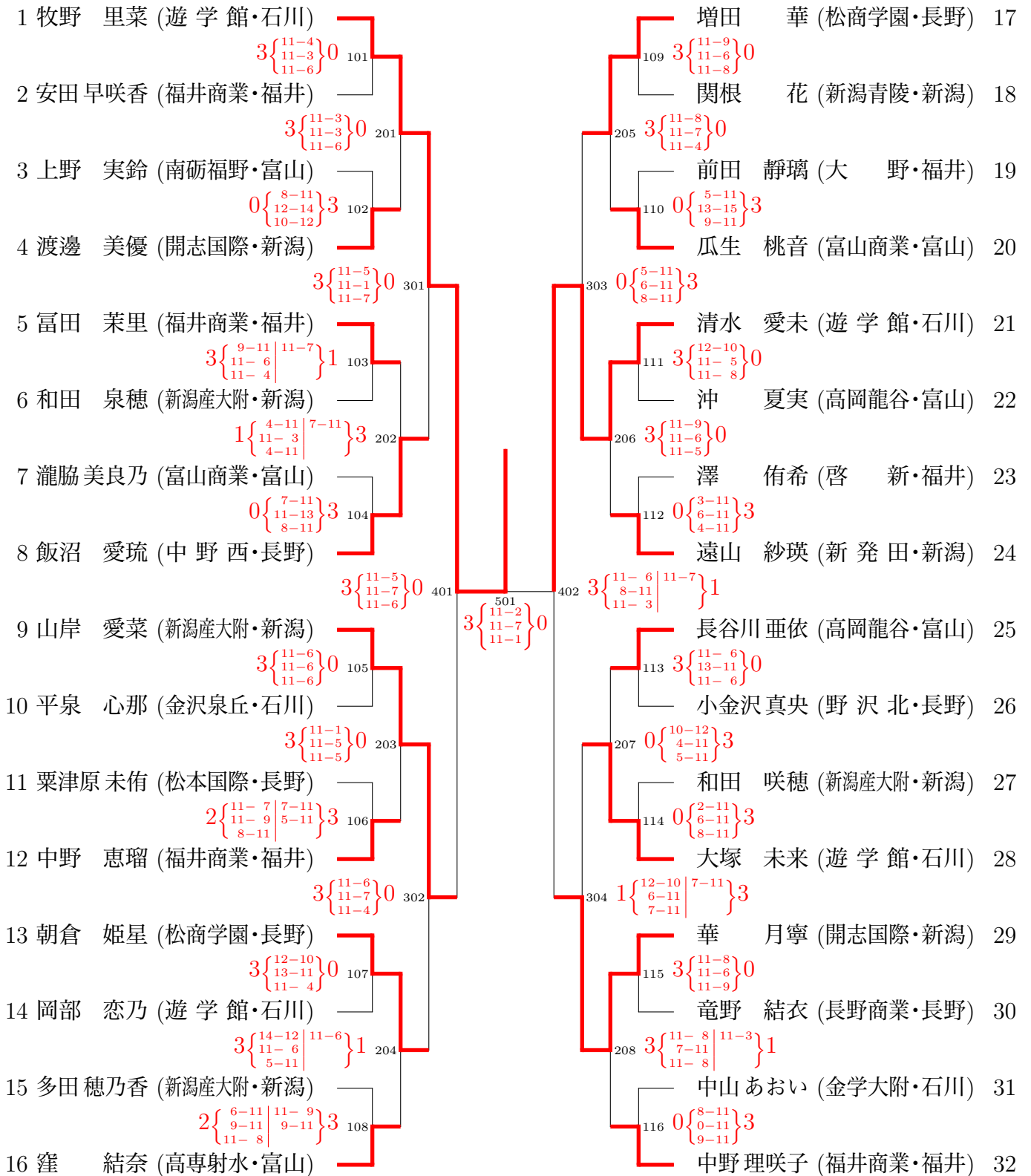
## 決勝



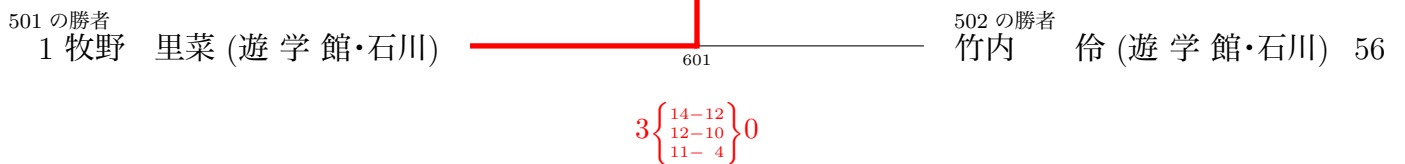
# 男子シングルス (その 2)



# 女子シングルス (その 1)

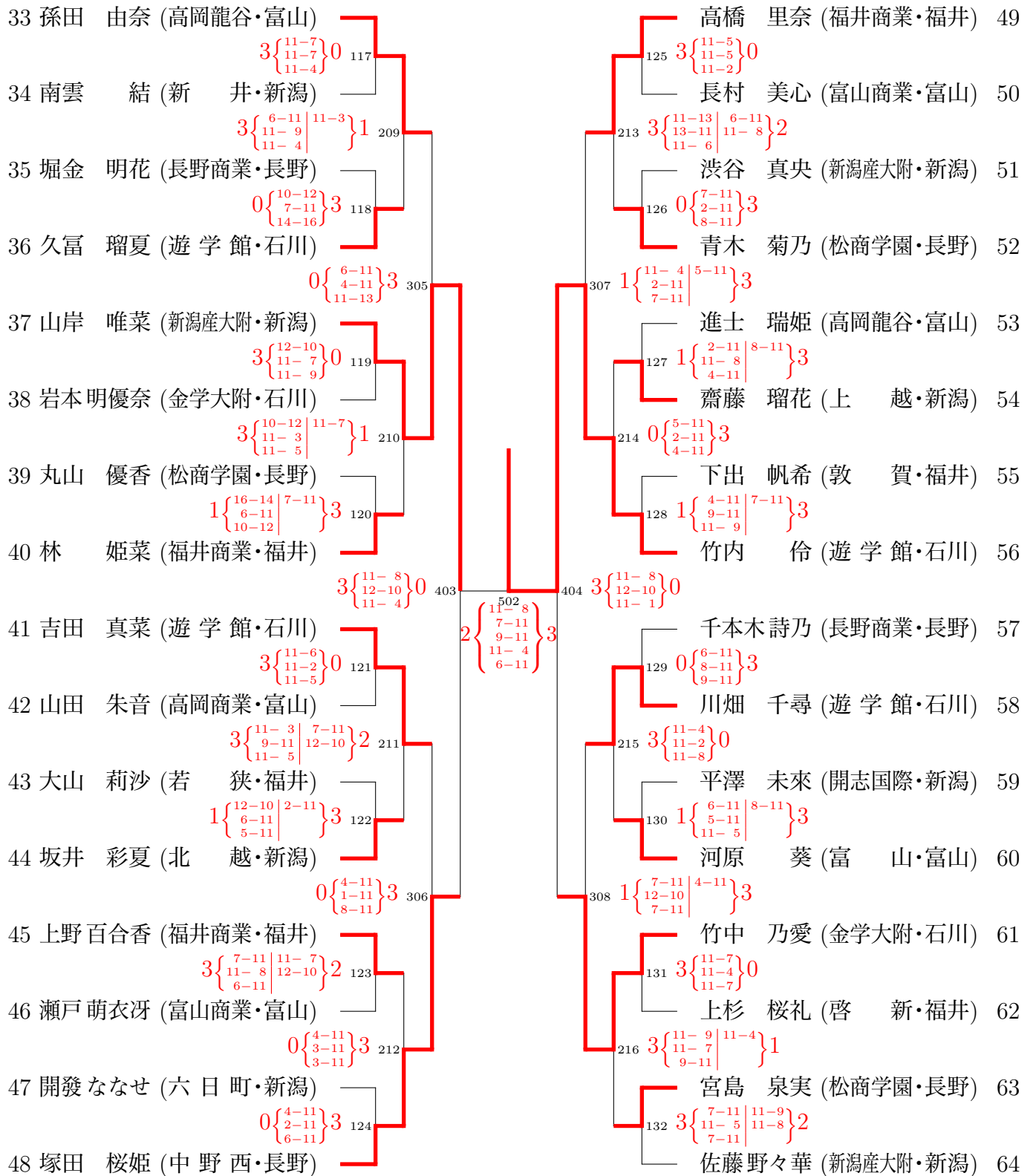


## 決勝





# 女子シングルス (その 2)



# 個人戦優勝者



男子ダブルス優勝  
坂田陽哉・鈴木柊平  
(遊学館)



女子ダブルス優勝  
竹内 侖・牧野里菜  
(遊学館)



男子シングルス優勝  
藤 大斗  
(遊学館)



女子シングルス優勝  
牧野 里菜  
(遊学館)